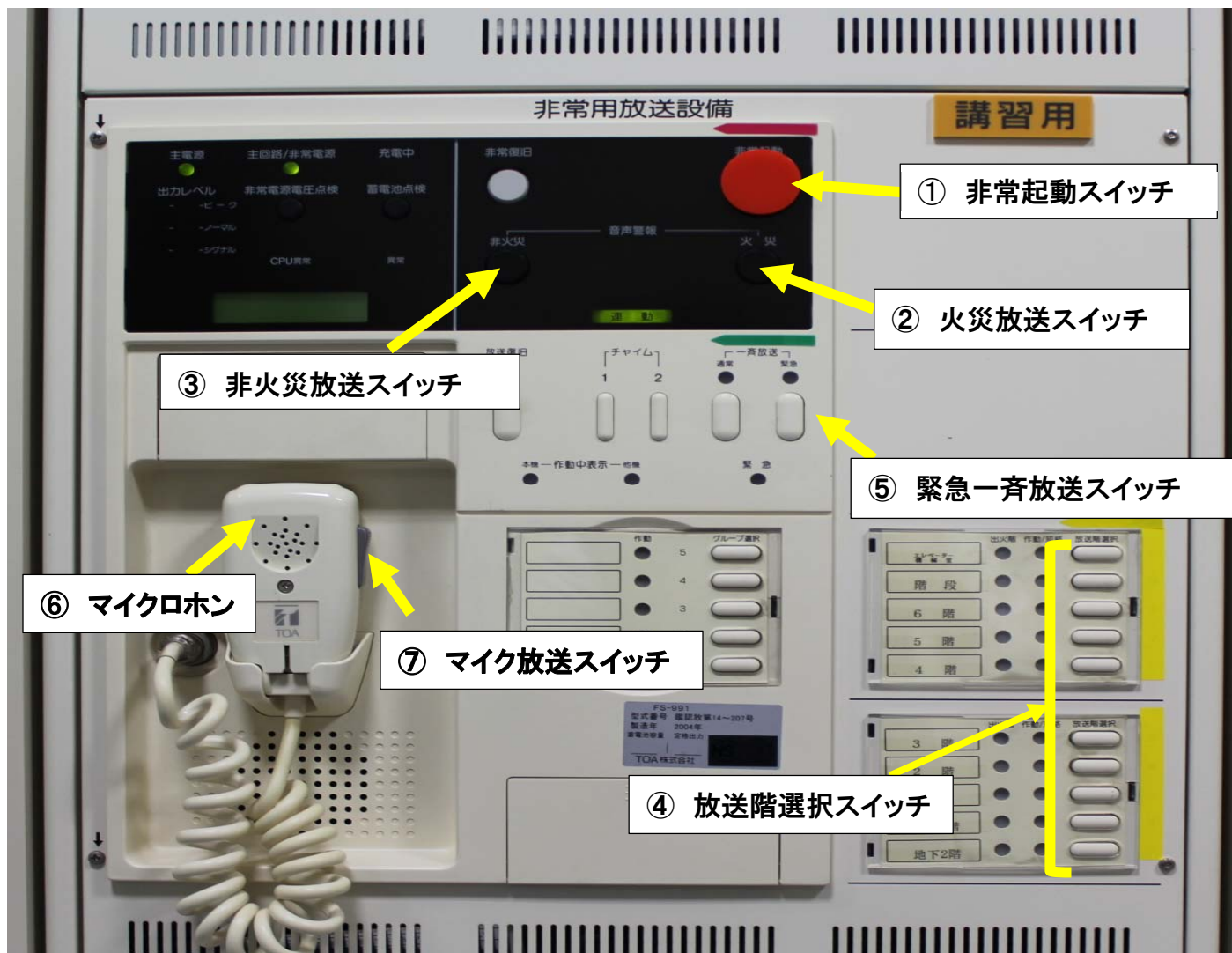


放送設備

★ 放送設備は、感知器の発報、火災の発生又はそれらの状況を建物にいる人に知らせ、初期消火、避難誘導等を円滑に行うことを目的として設置するものです。

【放送設備の主なスイッチ等 構成例】



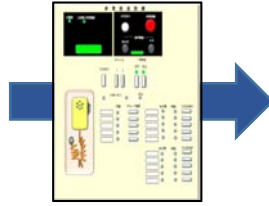
①	非常起動スイッチ	放送設備を手動で起動するスイッチ
②	火災放送スイッチ	音声警報音の「火災放送」を手動で起動するスイッチ
③	非火災放送スイッチ	音声警報音の「非火災放送」を手動でするスイッチ
④	放送階選択スイッチ	放送する階を選択するスイッチ すべての階に一斉に放送をするスイッチ
⑤	緊急一斉放送スイッチ	すべての階に一斉に放送をするスイッチ
⑥	マイクロホン	マイクを使用して放送をするときのマイク
⑦	マイク放送スイッチ (プレストーク)	マイクを使用して放送する際に操作するスイッチ 音声警報音が鳴動中に操作すると、音声警報音が停止し、マイクの放送が優先する。

【放送設備の操作要領】

手動起動（マイクを使用）の場合

操作者の判断で「非常起動スイッチ」を押し、起動させて放送する。

非常起動スイッチを押す



放送階選択
スイッチを押す



又は

一斉放送
スイッチを押す



放送階選択ス
イッチを押せ

マイクロホンを持ち、
マイク放送スイッチを押して放送する。



《放送文例》

	内容	火災発生時の放送例	火災感知器作動時の放送例
1	発信元	「こちらは、防災センターです。」「こちらは、自衛消防隊長です。」…など	
2	状況	「ただ今〇階で火災が発生しました。」	「ただ今〇階の火災感知器が作動しました。」
3	客、在館者等への指示事項	「係員の指示に従って避難してください。エレベーターは使用しないでください。」	「現在、確認中ですので、係員の指示があるまでお待ちください。」「次の放送に注意してください。」
4	自衛消防隊員への伝達	「初期消火班は、初期消火に当たれ。避難誘導班は誘導位置につけ。」	「〇階の自衛消防隊員は、現場確認を行い防災センター（自衛消防隊長）に報告せよ。」

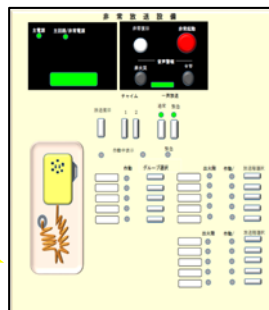
自動起動（自動火災報知設備連動等）の場合

自動火災報知設備の感知器の発報、発信機の起動又は非常電話の起動により、自動的に非常放送が起動する。

感知器作動時の例

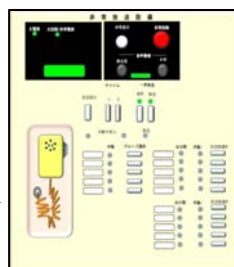
感知器発報放送

ただいま、〇階の火災感知器が作動しました。確認していますので、次の放送にご注意ください。（女性の声）



火災放送

火事です、火事です。〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。（男性の声）



非常起動スイッチ
又は
火災放送スイッチ を押す



※ 第1感知器作動後に発信機又は非常電話からの信号、第2感知器作動の信号のいずれかを受信した場合は、自動的に火災放送がされる。

※ 自動火災報知設備の発信機の起動又は非常電話の起動の場合は、直ちに自動的に火災放送がされる。